



## CHAPTER 5

# Cisco Unity Connection SRSV 9.1 バージョンへのアップグレード

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Connection SRSV 9.1 へのアップグレードについて」 (P.5-1)
- 「Connection SRSV 9.1 へのアップグレード中の Connection 機能のステータス」 (P.5-2)
- 「Connection SRSV 9.1 バージョンにアップグレードするためのタスク リスト」 (P.5-2)
- 「Connection SRSV 9.1 ソフトウェアから出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンへのローカル DVD からのアップグレード」 (P.5-3)
- 「Connection SRSV 9.1 ソフトウェアから出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンへのネットワーク ロケーションからのアップグレード」 (P.5-4)

## Connection SRSV 9.1 へのアップグレードについて

アップグレードの開始時に、非アクティブなパーティションを再起動するかどうかを選択します。再起動する場合は、アップグレード完了後に、Connection SRSV が自動的に再起動し、Connection SRSV のアップグレード後のバージョンが実行されます。再起動しない場合は、アップグレード完了後に、手動でアップグレード後のバージョンに切り替える必要があります。

Connection SRSV のバージョン 9.1 へのアップグレードについては、次の考慮事項に注意してください。

- Connection SRSV を初めてアップグレードする場合は、アップグレード時に新しいバージョンが空のパーティションにコピーされます。
- Connection SRSV 9.1 へのアップグレードには、約 4 時間かかります。
- アップグレードしたソフトウェアへの切り替えには約 2 時間かかります。
- Cisco Unity Connection SRSV のバージョンの切り替え中は、中央の Cisco Unity Connection の自動プロビジョニング/vmupload 機能は停止することを推奨します。



(注)

自動プロビジョニング/vmupload 機能を停止するには、Cisco Unity Connection の管理の [ ブランチ登録 (Branch Listing) ] ページで [ 有効 (Enabled) ] チェックボックスをオフにします。

## Connection SRSV 9.1 へのアップグレード中の Connection 機能のステータス

アップグレードしたソフトウェアへのバージョンの切り替え中は、すべての電話ユーザ インターフェイス（タッチトーン カンバセーション）機能および Web 機能は約 1 時間完全に無効になります。

## Connection SRSV 9.1 バージョンにアップグレードするためのタスク リスト

Connection クラスタが設定されていない場合に、既存の Connection SRSV 9.1 から出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンにアップグレードするには、次のタスクを実行します。

1. *Cisco MCS 7825-H3* サーバまたはそれと同等である *HP DL320G5* で *Connection SRSV* をアップグレードする場合：128 GB 以上の USB フラッシュ ドライブまたは外部ハード ディスクを確保します。

アップグレード中に、Connection サーバのディスク ドライブはハードウェアベースの RAID からソフトウェアベースの RAID に変換されます。RAID の変換の前に、USB ドライブが再フォーマットされ、Connection サーバのデータおよび音声メッセージがドライブにコピーされます。RAID が再設定されると、データおよび音声メッセージが Connection サーバのディスク ドライブに復元されます。



### 注意

保存したいデータが含まれる USB ドライブは使用しないでください。アップグレード中に、USB ドライブは再フォーマットされ、ドライブにある既存のデータはすべて消去されます。

2. アップグレード中は、無効化または制限されている機能のリストを確認します。「[Connection SRSV 9.1 へのアップグレード中の Connection 機能のステータス](#)」(P.5-2) を参照してください。
3. *Connection SRSV 9.1* から *Connection SRSV 9.1* にアップグレードする場合：CLI コマンド **run cuc preupgrade test** を実行して前提条件を確認してから、アップグレードを実行します。
4. 出荷されているバージョンへのアップグレードに関するその他の情報については、該当するバージョンの『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』を参照してください。特に、「Installation and Upgrade Information」の項の情報に注意してください。リリース ノートは、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html) から入手可能です。
5. 交換するハードディスクまたは交換するサーバのバックアップがない場合：Disaster Recovery System を使用して、サーバのバックアップを行います。詳細については、該当する『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) を参照してください。
6. Connection SRSV ソフトウェアをアップグレードします。該当する項を参照してください。
  - 「[Connection SRSV 9.1 ソフトウェアから出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンへのローカル DVD からのアップグレード](#)」(P.5-3)
  - 「[Connection SRSV 9.1 ソフトウェアから出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンへのネットワーク ロケーションからのアップグレード](#)」(P.5-4)



(注)

Connection サーバに日本語ロケールをすでにインストールしている場合は、デフォルトの日本語 COP ファイル、uc-locale-ja\_JP-9.1.0.1-xx.cop.sgn をアンインストールしてから、Connection SRSV サーバをアップグレードしてください。Connection SRSV サーバをインストール後、SRSV 固有の日本語 COP ファイル、uc-locale-SRSV-ja\_JP- 9.1.0.1 - xx.cop.sgn をインストールして、日本語ロケールを設定できます。

7. Connection SRSV のアップグレードしたソフトウェアに切り替えます。『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Switching to the Upgraded Version of Connection 9.x Software](#)」の項を参照してください。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html) から入手可能です。

## Connection SRSV 9.1 ソフトウェアから出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンへのローカル DVD からのアップグレード

ローカル DVD を実行して Connection SRSV をアップグレードするには、次のいずれかの方法を実行します。

- シスコから発送された DVD を使用する。
- Cisco.com から署名済みの .iso ファイルをダウンロードし、ダウンロードしたソフトウェアのディスク イメージを作成する。ダウンロードした .iso ファイルからディスク イメージを抽出し、それを DVD に書き込む。

CLI インターフェイスを使用したアップグレードプロセスの詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) の `utils system upgrade` コマンドを参照してください。

### ローカル DVD から Connection SRSV 9.1 バージョンにアップグレードする方法

- ステップ 1** Connection SRSV が収録された DVD を Connection SRSV のディスク ドライブに挿入します。
- ステップ 2** Cisco Unified オペレーティング システムの管理にログインします。
- ステップ 3** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。
- ステップ 4** [ソフトウェアのインストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ページの [ソース (Source)] フィールドで、[DVD/CD] を選択します。
- ステップ 5** [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、スラッシュ (/) を入力します。
- ステップ 6** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 7** インストールするアップグレード バージョンを選択し、[次へ (Next)] を選択します。アップグレードファイルが Connection SRSV のハード ディスクにコピーされます。ファイルがコピーされると、画面にチェックサム値が表示されます。
- ステップ 8** チェックサムを確認します。
- ステップ 9** 次のページで、アップグレードの進行状況をモニタします。

このステップの途中でリモート サーバとの Connection SRSV が失われた場合、またはブラウザを閉じた場合は、[ソフトウェアのインストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ページを再度表示しようとする、次のメッセージが表示されることがあります。

Warning: Another session is installing software, click Assume Control to take over the installation.

アップグレードのモニタリングを継続する場合は、[制御の取得 (Assume Control)] を選択します。

Real-Time Monitoring Tool でアップグレードをモニタすることもできます。

**ステップ 10** [次へ (Next)] を選択します。



(注)

- Connection クラスタがない場合は、手動のバージョン切り替えまたは自動のバージョン切り替えオプションを選択できます。
- Connection クラスタの場合は、手動のバージョン切り替えオプションを選択する必要があります。

アップグレードの初期フェーズで、Cisco Unified オペレーティング システムの管理の [インストール ログ (Installation Log)] テキスト ボックスがアップグレードの処理に関する情報で更新されますが、サーバの初回自動再起動後、更新は行われなくなります。アップグレードが完了したかどうかを確認するには、コンソールで Connection SRSV を確認します。コンソール画面にインストールの完了を示すメッセージが表示され、コマンドライン インターフェイスのログイン プロンプトが表示されます。

**ステップ 11** アップグレードの成功を確認するには、CLI コマンド、**show cuc version** を実行します。アクティブなパーティションにアップグレードされたバージョンがあり、アクティブでないパーティションに古いバージョンがある場合は、アップグレードが成功しています。

## Connection SRSV 9.1 ソフトウェアから出荷されている Connection SRSV 9.1 バージョンへのネットワーク ロケーションからのアップグレード

ネットワーク ロケーションから Connection SRSV をアップグレードするには、Cisco.com から署名済みの .iso ファイルをダウンロードし、その .iso ファイルを FTP または SFTP サーバにコピーします。Connection SRSV では、シスコから発送された DVD の内容や、ダウンロードした .iso ファイルから抽出した内容を FTP または SFTP サーバにコピーすることはできません。これは、改ざんされたソフトウェアを使用したアップグレードを予防するためです。

CLI インターフェイスを使用したアップグレードプロセスの詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) の `utils system upgrade` コマンドを参照してください。

### ネットワーク ロケーションから Connection SRSV 9.1 バージョンにアップグレードする方法

**ステップ 1** Connection SRSV がアクセスできる FTP または SFTP サーバ上のフォルダにアップグレード ファイルをコピーします。

**ステップ 2** Cisco Unified オペレーティング システムの管理にログインします。

**ステップ 3** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。

- ステップ 4** [ソフトウェアのインストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ページの [ソース (Source)] フィールドで、[リモート ファイルシステム (Remote Filesystem)] を選択します。
- ステップ 5** [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、アップグレード ファイルを格納したフォルダのパスを入力します。
- アップグレード ファイルが Linux または UNIX サーバ上にある場合は、フォルダ パスの先頭にスラッシュ (/) を入力する必要があります (たとえば、アップグレード ファイルが upgrade フォルダにある場合は、/upgrade と入力する必要があります)。
- アップグレード ファイルが Windows サーバ上にある場合は、次のように FTP または SFTP サーバに適切な構文を使用する必要があります。
- パスの記述はスラッシュ (/) で開始し、その後のパスの区切りにもスラッシュを使用します。バック スラッシュ (\) は使用しません。
  - パスの先頭部分は、サーバ上の FTP または SFTP のルート フォルダにする必要があります。したがって、ドライブ文字 (C: など) で始まる Windows の絶対パスは入力できません。
- ステップ 6** [サーバ (Server)] フィールドにサーバ名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 7** [ユーザ名 (User Name)] フィールドに、リモート サーバにログインするときに使用するエイリアスを入力します。
- ステップ 8** [ユーザ パスワード (User Password)] フィールドに、リモート サーバにログインするときに使用するパスワードを入力します。
- ステップ 9** [転送プロトコル (Transfer Protocol)] フィールドで、適切な転送プロトコルを選択します。
- ステップ 10** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 11** インストールするアップグレード バージョンを選択し、[次へ (Next)] を選択します。アップグレード ファイルが Connection SRSV サーバのハード ディスクにコピーされます。ファイルがコピーされると、画面にチェックサム値が表示されます。
- ステップ 12** チェックサムを確認します。
- ステップ 13** 次のページで、アップグレードの進行状況をモニタします。
- このステップの途中でリモート サーバとの Connection SRSV が失われた場合、またはブラウザを閉じた場合は、[ソフトウェアのインストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ページを再度表示しようとすると、次のメッセージが表示されることがあります。
- Warning: Another session is installing software, click Assume Control to take over the installation.
- アップグレードのモニタリングを継続する場合は、[制御の取得 (Assume Control)] を選択します。Real-Time Monitoring Tool でアップグレードをモニタすることもできます。
- ステップ 14** [次へ (Next)] を選択します。



(注)

- Connection クラスタがない場合は、手動のバージョン切り替えまたは自動のバージョン切り替え オプションを選択できます。
- Connection クラスタの場合は、手動のバージョン切り替えオプションを選択する必要があります。

アップグレードの初期フェーズで、Cisco Unified オペレーティング システムの管理の [インストール ログ (Installation Log)] テキスト ボックスがアップグレードの処理に関する情報で更新されますが、サーバの初回自動再起動後、更新は行われなくなります。アップグレードが完了したかどうかを確認するには、コンソールで Connection SRSV を確認します。コンソール画面にインストールの完了を示すメッセージが表示され、コマンドライン インターフェイスのログイン プロンプトが表示されます。

- ステップ 15** アップグレードの成功を確認するには、CLI コマンド、**show cuc version** を実行します。アクティブなパーティションにアップグレードされたバージョンがあり、アクティブでないパーティションに古いバージョンがある場合は、アップグレードが成功しています。
-